

史上初のプロ水流ランナー・二神浩晃が全国の川を走破します！

## 2019年GWに鹿児島篇実施

平成→令和をまたぐ標高差約1900mのトレイルラン70km！

《ZEROtoSUMMIT》鹿児島篇 2019年4月29日～5月1日 実施予定

---

史上初のプロ水流ランナー、二神 浩晃（ふたがみ・ひろあき）が2019年4月29日（予定）に《ZEROtoSUMMIT》鹿児島篇を実施。鹿児島県屋久島町の栗生浜海水浴場から栗生川をたどり、同県最高峰の宮之浦岳までの標高差約1900mの道のりを、野を越え山越え谷越えて走ります。登頂後は花之江河、ヤクスギランド、縄文杉と屋久島を周回し、永田川をたどって再び海へ。《ZEROtoSUMMIT》とは海から川をたどりつづけ、日本全国47都道府県の最高峰まで走る二神独自のランニングプロジェクト。ただいま47座のうち12座（1都11県）を走破済み。九州では昨年11月の福岡県に続き、2番目の挑戦です。

---

### 《ZEROtoSUMMIT》鹿児島篇 実施概要

◇実施日：2019年4月29日(月)～5月1日(水)のうち2日間

◇行程 鹿児島県屋久島町の栗生浜海水浴場から栗生川ぞいに同県最高峰・宮之浦岳（標高1936m）に登頂後、屋久島を周回し、永田いなか浜に下山（計約70km）

---

◆二神 浩晃（ふたがみ・ひろあき）1972年9月13日、岐阜県生まれ。東京・世田谷区在住。愛知、岐阜、長野で育ち、松商学園高で硬式野球部に所属。日本大学生産工学部建築工学科卒。大学ではワンダーフォーゲル部に所属し、著書等を通して野田知佑、関野吉晴らの活動に影響を受ける。2000年に青年海外協力隊派遣で建築隊員としてモロッコのワルザザートに滞在。その後、設計事務所、ハウスメーカー、都市計画コンサルタント会社、建築確認検査機関などに勤務するかたわら、登山、ツーリングカメラ、クライミング、山スキー、沢登り、トレイルランニングを続ける。2015年1月開催の第63回勝田全国マラソン大会で、最初で最後のフルマラソンで2時間48分57秒のサブスリーを達成。2018年10月にプロ水流ランナーとして独立。人と人を繋ぐランニングプロジェクト《ZEROtoSUMMIT》をライフワークとして、「世界の果てまで、川ぞいを走る」を合言葉に、あらゆる川ぞいの道を走り続けている。

---

プロ水流ランナー 二神 浩晃（ふたがみ ひろあき）

e-mail：zts47@gmail.com

WEB：http://zts47.com